資料１

令和元年度第２回　長与町地域公共交通会議　議事内容

①乗合タクシーの試験運行実施結果について

１．定時定路運行の結果(平成30年6月25日～12月21日)

・運行内容：①２地区での運行、②週３日、１日片道６便運行

・全体の１便あたり平均乗客数：０．７４人（目標：２人）

中尾団地地区	：０．５４人
道ノ尾・自由ヶ丘団地地区	：０．９３人

→５４．３%の便が乗客０人のまま運行しており、運行形態の縮小が必須。

→便数の縮小＋予約制デマンドへの変更を行い、２か月間の延長を実施。

２．予約制（デマンド型）運行の結果(平成31年1月4日～2月28日)

・変更点：①予約制（デマンド型）の導入、②運行ダイヤ減便（３往復→２往復）
③運行ダイヤの変更、④運行曜日の変更（中尾団地地区のみ）

・稼働率（予約により運行した便÷運行予定便数）　：２２．４％（目標：５０％）

中尾団地地区	：１２．５％（１２便／９６便）
道ノ尾・自由ヶ丘団地地区	：３２．３％（３１便／９６便）

・稼動時の１便あたり平均乗客数：１．４人（目標：２人）

中尾団地地区	：１．３３人（延べ１６名、実利用者４名）
道ノ尾・自由ヶ丘団地地区	：１．４２人（延べ４４名、実利用者８名）

→予約制により、１便あたり平均乗客数は定時定路運行の時よりも改善している。
また、稼働率は徐々に上昇している。

→新たな形態での運行期間が短いため、運行期間の延長により地域への定着を図る。

３．予約制（デマンド型）運行の結果（令和元年5月13日～11月15日）

・変更点：①予約時間の改善（２時間前→１時間前）、②停留所の追加、
③運行ダイヤ変更（道ノ尾・自由ヶ丘団地地区は行き１便、帰り３便に）

・稼働率（予約により運行した便÷運行予定便数）　：３２．４４％（目標：５０％）

中尾団地地区	：　８．６５％（２７便／３１２便）
道ノ尾・自由ヶ丘団地地区	：５５．６３％（１７８便／３２０便）

・稼動時の１便あたり平均乗客数：１．４９人（目標：２人）

中尾団地地区	：１．１５人（延べ３１名、実利用者５名）
道ノ尾・自由ヶ丘団地地区	：１．５４人（延べ２７４名、実利用者１３名、特に５名）

【乗車実績の評価】

①中尾団地地区　：目標に大きく届かず、本運行への移行は困難である。

②道ノ尾・自由ヶ丘団地地区：目標：稼働率５０％は達成したが平均乗客数２名は達成せず

→②について、本運行の可能性を次項のとおり検討

４. 本運行にあたっての検討（道ノ尾・自由ヶ丘団地地区）

【利用者数について】

利用者の実数が少ない（利用したことがある方１３人、よく利用する方５人）
→受益者が「地域」というよりも、「特定の個人」に限られている。
　平均乗客数も１．５４人にとどまっている。

【経費面について】　※道ノ尾・自由ヶ丘団地地区の実績をベースに、試算を実施。

①現在の運行形態及び経費をそのまま維持した場合の年額経費試算

a.実績からの1便あたり経費（令和元年5月13日～11月15日）

１便あたりのメーター料金平均：７１０．６円
１便あたりの利用者負担　　：３０７．９円
１便あたりの町負担額　　：４０２．８円

b.年間の町負担額の試算

年間の町負担額（実績６月分１７８便×２）：約１４３，４００円／年
→ただし、事業者として、この対価での運行継続は不可能（最低賃金の維持ができない）

②仮に①を時間制運賃：２，０００円（貸し切り３０分）で試算した場合

a.1便あたり経費の試算

１便あたりの経費　　：２，０００円
１便あたりの利用者負担　　：３０７．９円
１便あたりの町負担額　　：１，６９２．１円

b.年間の町負担額の試算

年間の町負担額（実績６月分１７８便×２）：約６０２，４００円／年
→現行の運行形態での１便あたり町負担額が４０２．８円であることに対し、
　②の試算上の１便あたり町負担額が１，６９２．１円と大きく上回る。
→この形式での運行を町として実施することにコスト面での合理性がない。

③国庫補助の可能性：（稼働率３０%以上の場合、フィーダー系統補助あり）
→試算上数万円程の補助が見込めるが、②の合理性の問題に変わりはない。

５. 町としての結論

上記を総合的に勘案し、両地区ともに本運行への移行は実施しない。（試験運行終了）

②今後の地域公共交通の考え方について

地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様等について、地域公共交通会議や各関係者に対し、適宜意見交換や協議を行わせていただきたい。

【今後見込まれる町内及び周辺交通事情の変化】

・総合病院の町内への建設・移転(令和３年春に移転予定)

・町内スーパーにおける「お買い物送迎車」の開始（令和元年１０月～)

・バス路線の変化（例年変化あり）

・町民意識調査（令和元年９月）速報値では、「今後特に重要と思う重要な施策」の設問において「地域公共交通の充実」と回答した方が最も多かった。（２０．２％）

→長与町地域公共交通網改善計画に則り、時代に合った路線の変更を図っていく。
→適宜協議を行いながら、その時点に合った最適な交通路の在り方を検討していく。
→乗合タクシー等の運行についても、今後の高齢化率の上昇や地域の要望等に応じて、再度試験も含めた、持続可能な運行態様の検討を行う。

●資料

参考資料①　長与町乗合タクシー試験運行　乗客数集計

参考資料②　長与町乗合タクシー試験運行利用案内